

三平事務所通信 2016.7.1



【コラム】『地方出張で感じたこと』

三平 和男

毎年のことながら梅雨の時期は憂鬱であり、時折からっと晴れた日は、ことのほか気持ちの良いものである。

この時期に九州の小倉、長野の上田と地方に仕事で行く機会があったが、運良く天候に恵まれ、束の間ではあるが、ホテルの周辺の散策、名所・旧跡巡りを楽しむことができた。

小倉は歴史もあり、炭鉱をはじめ商業都市として栄えた地として有名であるが、小倉駅周辺の賑わい、地元デパートの買い物客の様子は、さながら東京の老舗デパートに劣らない富裕層の多さに驚くばかりである。観光、ビジネスの中心地は博多に移ってはいるが、奥深さとともに、人々の気高さを感じる町である。最盛期に比べれば縮小されているとはいえ、製鉄所のもうもうと立ち上る煙は小倉のシンボルである。

小倉から車で幹線道路を行くと、戸畑、八幡、折尾まで道路沿いに広がる風景には、この鉄鋼産業を中心とした関連産業が延々と続いている。これらの企業が北九州の経済を今なお牽引しているようすが実感できた。

上田はNHKの大河ドラマ「真田丸」の影響で、大変な賑わいを見せており、地元の観光関連企業も予想を上回る観光客にうれしい悲鳴を上げているようだ。真田真幸が築城して400有余年の上田城、その隣に大河ドラマ館がある。土曜日の朝早い時間(9時30分頃)、すでに多くの団体客が列をなしており、大河ドラマの影響の大きさを物語っていた。叶う事ならば、ドラマがいつまでも続いて欲しいと願いたいところであろう。

一方で製造業が陰りを見せてきており、金属加工産業、金型成型産業等の下請け企業では、パート従業員の雇止めを検討している中小・零細企業もあるとのことである。そのような状況下、今回のイギリスのEU離脱の影響は地方経済のみならず、日本経済にどう影響してくるのか大いに懸念されるところである。

いずれにしても、天候、経済ともに、一日も早く、憂鬱な曇り空ではなく、晴れ渡った青空を仰ぎたいと思う今日この頃である。

《夏季休業のお知らせ》

8月11日(木)～15日(月)まで夏季休業とさせていただきます。



《求人票と実際の労働条件の相違によるトラブルの防止》

求人票に記載されていた内容と入社後の実際の労働条件が異なることによる労使トラブルが多発しています。厚生労働省では、「ハローワーク求人ホットライン」を開設し、求人票の内容が実際と違っていた場合は申し出るよう促しており、先日その申し出の件数と内容が公表され、現状が明らかとなりました。

○平成27年度の件数

10,937件(前年度比 10.7%減)

○申出等の内容の上位

「賃金に関すること」「就業時間に関すること」「職種・仕事の内容に関すること」等

求人票と実際の労働条件に相違がないようにするのはもちろんのこと、齟齬が起きないように、しっかりとした説明を行うことが求められます。

《介護休業給付金の「支給率」や「賃金日額の上限額」の変更について》

平成28年8月1日以降に開始する介護休業から、給付金の支給率や賃金日額の上限の適用枠が以下のように変更となります。

支給率

休業開始時賃金の40% ⇒ 休業開始時賃金の67%

※平成28年7月31日までに開始した介護休業は、これまでどおり40%を支給

※平成28年8月1日以降に再度開始する介護休業は、67%を支給

賃金日額の上限額

「30～44歳までの賃金日額の上限額」⇒「45～59歳までの賃金日額の上限額」

※平成28年7月31日までに開始した介護休業は、これまでどおりの上限額を適用

詳細は、厚生労働省より公開されているリーフレットをご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/index.html

《平成28年度第2回三平事務所セミナーを開催致しました》



去る平成28年6月27日(月)第2回セミナーを開催しました。

今回のセミナーでは「心身に疾患を有する社員の雇用管理上の留意点」について、代表の三平が講義いたしました。

ご多忙中にもかかわらず、たくさんの方々にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

社会保険労務士法人 三平事務所

東京都港区西新橋1-19-3 第2双葉ビル5F

TEL:03-3504-0071/FAX:03-3504-0072

☆人事・労務相談、業務委託のご依頼等、お気軽にご相談ください。